

大分工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	書道	
科目基礎情報							
科目番号	R04G115			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実技			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	(教科書／教材)「書Ⅰ」, 光村図書／古典の資料プリント / (参考図書) 古典の法帖, 拓本, 資料プリント						
担当教員	多賀 万希子						
到達目標							
(1) 書写から書道芸術へと眼を開き, 認識させる。(課題, 容易・片づけ, 態度) (2) 芸術をとおして「豊かな心」を育成する。(課題, 容易・片づけ, 態度) (3) 芸術を鑑賞する心を培う。(課題, 容易・片づけ, 態度)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
目的・到達目標(1) の評価指標	書道芸術として書画を描くことができる。			書写から書道芸術へと眼を開き, 認識できる。		書写から書道芸術へと眼を開くことができない。	
目的・到達目標(2) の評価指標	芸術をとおして「豊かな心」を育成し, それを書画で表現できる。			芸術をとおして「豊かな心」を育成できる。		芸術をとおして「豊かな心」を育成できない。	
目的・到達目標(3) の評価指標	芸術を鑑賞し, 得たものを書画で自由に表現できる。			芸術を鑑賞する心を養い, 作品に表現することができる。		芸術鑑賞の心を培うことができず, 作品に表現することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 (A1)							
教育方法等							
概要	書写から書道への違いを把握し, 古典を臨書することにより創作へと発展させ, 自己表現を確立する。 (科目情報) 特になし						
授業の進め方・方法	毎時間課題を提出すること。 (事前学習) 授業内容に関連する個所について, 教科書を読んでおくこと。						
注意点	(履修上の注意) 書道文房並びに片付け, 責任ある態度であること。 (自学上の注意) 書写との違いを把握する。						
評価							
(総合評価) 総合評価 = (課題) × 0.8 + (用意・片づけ) × 0.1 + (態度) × 0.1 とし, 60点以上を合格とする。 (再試験について) 実施しない。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバスの確認、文房の扱い		諸注意, 授業流れの理解		
		2週	書の変遷と概論、楷書法		書の変遷の理解・認識 臨書 ・「孔子廟堂碑」 ・「雁塔聖教序」		
		3週	楷書法		・「孔子廟堂碑」 ・「雁塔聖教序」		
		4週	生活の中の書		・手紙の書き方 ・封筒の書き方		
		5週	楷書法		臨書 ・「牛橛造像記」 ・「顔子家廟碑」		
		6週	楷書法		・「牛橛造像記」 ・「顔子家廟碑」		
		7週	平仮名のあゆみ (由来と確立)		平仮名 (いろは歌)		
		8週	(前期中間試験)				
	2ndQ	9週	行書法		蘭亭叙		
		10週	行書法		蘭亭叙全臨		
		11週	拓本研究		拓本を研究し, 把握		
		12週	創作		拓本製作, 印作り		
		13週	創作		創作作品		
		14週	創作		創作作品		
		15週	(前期期末試験)				
		16週	(前期期末試験の解答と解説)				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

評価割合				
	課題	用意・片づけ	態度	合計
総合評価割合	80	10	10	100
基礎的能力	80	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0